



コロナ禍の今だから、世界へ「ありがとう」を届けます

お宝No.384 一般社団法人CHIE-NO-WA 福田千恵子

「お宝No.」とは？
「まちづくり・お宝バンク」に登録
されている提案番号です

新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が解除されたばかりですが、これまで京都を訪れた世界中の人たちに「ありがとう」を伝えるために、昨年10月から一般社団法人CHIE-NO-WA代表福田さんが取り組まれたのが「京都から世界へ恩返しプロジェクト」です。今回のプロジェクトでは、各国大使館など122か国へ1200通以上のメッセージを送りました。

京都を訪れた人たちだけでなく、観光客を迎える側の京都のみなさんもメッセージを送ることで改めて京都というまちの魅力を発信してもらい、両者が互いを思い合うことで、スポーツマンシップのように“ツーリストシップ”の醸成を目指しています。

活動動画
もできました！



手のひらサイズの
パンフレット配架先
も募集しています！



ヘルプマークの理解・普及を音楽で伝えています

お宝No.271 ピア・パレード おぐらひろみ



この動画は、自らも難病患者である
小倉ひろみさんが出演してくださ
いました
みなさんと一緒に踊れる日を
楽しみにしています

ヘルプマークの理解・普及活動のため、医療施設や高齢者福祉施設などを中心に、手話を交えた歌や踊りのパフォーマンスを披露している小倉ひろみさん。

コロナ禍でイベントが中止になり、ステージに立つ機会が減っているため、この度、医療関係者と一緒に、動画で手話と歌を披露されています。

ご自身も外見からはわからない難病をかかえていらっしゃいますが、ステージに立つ時には病気の辛さを忘れられるので、子供から大人までいろんな催しやステージに呼んでいただきたいと仰ってご依頼を楽しみにされています。動画は[こちら](https://youtu.be/PS2lxiUpa-U)

<https://youtu.be/PS2lxiUpa-U>

イベント等の出演依頼を受け付けています！
まちづくり・お宝バンク「ご意見・応援フォーム」からお問合せください。



食糧支援と食品ロスを防ぐために協力

お宝No.195 NPO法人インド日本友の会

お宝No.289 NPO法人ハピネス

お宝No.229 だいでキャンドルプロジェクト

お宝No.206 嵐山子ども食堂

NPO法人インド日本友の会が運営する向島チャンドラ・セカール・アカデミー京都校のクナ・ダッシュ理事長さんから、東京都福祉保健局から災害備蓄米を大量にいただいたので、必要とされている方へお渡しできたらとご連絡をいただきました。賞味期限が近く、残念ながらフードバンク系の団体さんの受け入れ規定に合わなかったため、まちづくり・お宝バンク取組提案者さんで、食料配布スキルを持っていな団体さんへお声がけをさせていただきました。1箱50食〜と大量でしたが、「ハピネス宇野様」「だいでキャンドル高向様」「嵐山子ども食堂高畑様」みなさま協力を快く受けてくださり、在庫全てを活用していただくことができました。廃棄することにならずよかったです！ありがとうございました！！

200食分を受け取っていただいた嵐山子ども食堂さんでは、配布を告知したところ、すぐに予約が埋まったとのことでした。嵐山子ども食堂さんでは、お弁当販売の他にも寄付の状況によっては不定期でフードパントリーを実施されていますので、ホームページ[facebook](#)をご確認ください。

フードパントリーとは：様々な理由で生活に困っている方々へ食料品などを無料で配布する取り組みです。



思いに寄り添う社会を願って

お宝No.390 共に生きる会

「共に生きる会」は、令和2年に新たに立ち上げられた市民団体です。代表の太田さんが声優・真山亜子さんと出会ったことがきっかけで、病気等でやむを得ず人工肛門や人工膀胱をつけて生活している人たち（オストメイト）でもある真山さんのように、自ら経験していることを語り部として発信しておられる方と一緒に事業を企画発信することで、互いに相手を尊重しあい、外見からは分かりにくい病気などへの理解を広げ、互いに住みやすい世の中にしていける一助になればという想いで取り組んでいます。

今年度は、中京区まちづくり支援事業に採択され、3月15日には、オンラインで事業報告会もおこなわれ、太田さんと報告会参加者が活発に意見を交わされて「頑張って！応援してるよ！」という声も出ていました。

昨年11月に開催された初イベントでは、声優・役者真山亜子さん講演「真山亜子のストーマちゃん物語」と詩の朗読、聾唖手話映画『Home Nurseホームナース～訪問看護の時間～』上映会をおこないました。講演では、真山さんが小腸ストーマと大腸ストーマを付けることに至るまでのお話を中心にされ、仕事中にストーマが漏れてしまったけれど、誰にも言えず大変困ったというエピソードを伺い、当事者が困っていることを言える社会をつくり、お手伝いできるように意識したいと思いました。「ストーマでも着物を着られるんだよ！ということを知ってもらうために、普段の講演では着物で伺っているんです。」とも仰っていて、当事者が発信することの力強さと説得力を感じたイベントでした。

このイベントに合わせて、「日常で使う手話イラスト50～やってみよう手話」リーフレットを作成されましたので、ご活用いただける方は、まちづくり・お宝バンク「[ご意見・応援フォーム](#)」からお問合せください。

5月には、第2回講演会 & 上映会を予定されていますので、詳しくは[ホームページ](#)をご覧ください。



第2部講演会の登壇者である真山亜子さん（画像中央）は、オストメイト当事者で、「ちびまる子ちゃん」の杉山君、ブー太郎の母役他、みんなが知っているアニメ作品に多く参加されている声優・役者さんです。USJにある「E.T」アトラクションのE.Tの声（2代目）も担当されているそうで、いろんな役の声を披露して場を盛り上げてくださいました。

第1部の上映作品「Home Nurse～訪問看護の時間～」監督の谷さん（画像右）が、講演内容を手話通訳してくださいました。



イベントでリーフレットを活用していただきました

知的探検団Shiru-te?

3月13日に開催された、知的探検団Shiru-te?（シルutte）さんのイベントで、共に生きる会が作成した「日常で使う手話イラスト50～やってみよう手話」リーフレットを配布していただきました。イベント主宰者浅田さんからは、「参加者の皆さんがパンフレットを見て、自分の伝えたい気持ちを表現されていてすごく嬉しかったです！」との嬉しいコメントをいただきました。



「やさしい日本語」を知っていますか？

お宝No.387 「やさしい日本語」を広める会

京都市
30人に1人 外国人住民



活動紹介動画の他にも、「やさしい日本語」のコツを紹介した動画も見るができます。

「やさしい日本語」を広める会は、多文化共生社会の実現を理念とし、主に、日本社会で生活する言語文化が異なる人々との、よりよい相互理解のために、社会全体のコミュニケーション技術の向上に寄与することを目的としています。誰にとってもわかりやすい「やさしい日本語」を広く普及し、日本の社会生活で活用してもらえる活動をしています。

これまでに、外国人保護者と「やさしい日本語」で話すためのワークショップを、幼児園職員対象に実施しました。

今年度は活動動画作成に挑戦されたり、「やさしい日本語」ワークショップをより良くするために、在住外国人を対象にアンケート調査を進めています。

教育現場や自治会など、在住外国人とやりとりをする機会のある方、「やさしい日本語」研修などに関心のある方は、ぜひ事務局へお問合せください。

[ご意見・応募フォーム](#)からも受け付けております。

【お問合せ先】

「やさしい日本語」を広める会 hiromeru.yasanichi@gmail.com

youtubeでご覧いただけます！

◆活動紹介動画

◆「やさしい日本語」のコツ動画